



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

THE Y'S MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERED SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長主題: 命の川を信じよう Trust in the river of life.

アジア会長主題: 変化をもたらそう Make a difference.

西日本区理事主題: Let's do it now!

阪和部長主題: 寄り添う、忘れない Stay with you. Never forget you.

クラブ会長標語: 共に進む、共に祈る。

会長: 佐藤 由佳

副会長: 山口 ルミ

書記: 高井 亮吉

会計: 平井 洋三

直前会長: 内田 勝久

次期会長: 山口 ルミ

ネット会長: 林 夏代

11月
2020年

ブリテン
編集委員

高田 嘉昭
佐藤 由佳
辻野 啓一
林 佑幸
平井 洋三

11月例会

とき 2020年11月14日(土) 18:30~20:30

ところ あきしの保育園

<プログラム> 司会 平井 洋三メン

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]
2. 開会点鐘 会長
3. ワイズソング
4. 聖書・祈祷
5. ゲスト・ビジター紹介
6. 食前感謝
7. 卓話: 「出会いが人生を創る縁の力」
講師: 大阪サウスクラブ会長 木下康生様
8. 誕生日のお祝い
9. YMCA ニュース
10. インフォメーション
11. YMCA の歌
12. 閉会点鐘 会長



[月間強調テーマ]

Public
Relations
Wellness

[今月の聖句]

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。
(マタイによる福音書7章7節)

奈良基督教会 牧師 古本靖久

わたしたちは人生の中で、何度も求め、探し、門をたたき続けています。しかし自分の思い通りにならないことも多くあるのではないのでしょうか。けれども神さまは約束してくださいます。必ずいつの日か、求めるものが与えられ、探しているものが見つかり、叩き続ける門が開かれる日が来ることを。その日を信じて、祈り続けていきましょう。神さまはあなたの叫びを聞いておられます。

2020年10月度クラブ統計

在籍会員 17名	メネット 4名
出席会員 10名 (広義会員含まず)	コメット 0名
メキップ 1名	ゲスト 2名
出席率(11/16) 68.8%	ビジター 2名

ニコニコ献金

10月度: 11,393円
累計: 1,855,855円



例会 11月14日(土) 18:30~20:30 あきしの保育園

役員会 11月24日(火) 19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕



★会 長 通 信★

会長 佐藤 由佳

「国際協力募金にご協力を！」

今年も国際協力募金の季節がやってまいりました！皆様ご存知かと思いますが、国際理解・国際協力を促進すると同時に、災害や紛争で被害にあった被災者・難民の方々の健康・保育・教育の基盤整備の為、全ての人々が国境や人種を超えて、人間らしい生活のできる平和な世界をつくることを目指し、世界各地のYMCAと協働している取り組みです。

今年は残念なことにコロナ感染症拡大により街頭募金やチャリティーイベントが中止になりましたが、奈良YMCAのリーダーさん達が集まって知恵を絞り、一生懸命動画を作ってくれました！SNSで子供達や周りの方々へ発信するという今までにない試みです。初めて実行委員長として会議に参加させていただき、リーダーさんが出してくれたアイデアを形にする場にご一緒出来て嬉しかったです。まずは国際協力募金の意味を知ってもらうことが大事だということから動画制作が始まりました。完成した動画は、さすがYouth！というとても素敵な出来上がりです。是非ご覧ください！下記アドレスをインターネットで検索していただきましたら、ご覧いただけます♪

「青少年センター」

<https://www.facebook.com/NARA-YMCA-Kids-Program-202919463375571>

「芸術文化センター」

<https://www.facebook.com/NARAYMCA-MusicArt-946327572106910>

「スイミング」

<https://www.facebook.com/NaraYmcaSwimming/>

★コロナ禍対策に学ぶ★

平井 洋三

否も応もなく始まった「ウィズコロナ生活」。感染拡大を避けるため、日常生活・経済・社会・文化・体育などすべての活動が制約され、国全体が巣ごもり同然の生活を続けたら、どんな影響が出てくるのかと想像しながら1年近くが経過した。その間、新聞・雑誌・TVを通じて、コロナ感染に関する新しい知識や折々の対応諸策を学び知ることができたが、その中で感じた事を断片的に記してみました。

＊その① 新しい生活様式が日常化。

3密回避・不要不急の外出自粛・マスク着用・手洗い等の生活様式が日常習慣化してきた。いつ、どんな、感染症が再来するやも知れない。身に着けておきたいと思う。

＊その② オンライン化の功罪。

オンライン化が経済活動、教育活動を中心に急速に拡大し、息子たちの会社や私の元の職場でもテレワークの対象が拡大され、自宅からのTV会議も常態化していると聞く。ただ本音で、テレワークやTV会議で生産性が上がるかと聞くと否定的な答えも返ってくる。仕事の場で仕事に集中し、上司や同僚と会話する中でこそ、新しい着想が生まれ、人間関係もより緊密になってくるもので、なんでもかんでも新しい取り組みをすれば良いというものではないと実感しているようだ。

一方、個人的には、雑誌・新聞社などが主催するリモート対談・講座等の無料視聴や朝日カルチャーセンターの各地域の教室の講座が、選り取りでオンライン視聴(有料)できるなど巣ごもり生活の中にも新しい動きと明るさが出てきたのは大変有難い。

＊その③ 医療従事者への思い。

長期にわたる緊張状態を強いられる中で、危険を顧みずに患者の治療にあたる医療従事者に対して心ない言動が後を絶たず、偏見やプライバシー侵害に繋がっているという。感染する可能性は誰にでもあり、感染者を責めても自分や家族の安全につながる訳ではない。逆の立場に置き換えて考える事はできないのか、恥かしい事だと気づいてほしい。重ねて、「GO TOトラベル」の給付金支援は、観光事業者に対してなされるものと思っていた。1兆円を超える税金が旅を楽しむ人達に給付されながら、人の命を救うためのあの第1波ピーク時の奮闘やほぼ80%が赤字経営というコロナ患者受入れ病院に対する支援が不十分で遅滞しているのは解せない。(9月になってようやく医療介護従事者への慰労金支給が開始)経済回復策と感染防止策が共にバランス良く実施されないと社会生活は破綻してしまうが、少なくとも税金による支援は、物見遊山よりも他人の命を守る働きや医療設備充実に対して、優先して手厚く行われるべきだと思う。

★哲学～自分にとって必要なもの～★

黒田 幸司

『学問とは、最高の道楽である。』誰が言ったのか、私には定かではないが、私が好きな言葉の1つです。人によって解釈は、様々あると思いますが、私は《道楽という境地にまで辿り着かない限り、学問をしたという事は言えない。》と現時点では、認識しています。ただ年齢を重ねていくと、20代ぐらいに抱いていた焦りのようなものは感じないが、かといって道楽という境地には、程遠い印象もあります。学問する気持ちにも中々なれないある日、たまたま見ていた新聞に、少し目を引く記事がありました。折しも世間は、コロナ禍の最中(今もかなあ)。色んな人が世相を斬るが如く、世界の現状について語っている中に見つける事ができました。語っている人は、ドイツの哲学者マルクス・ガブリエル。世界の現状を見るに、私達の生き方や考え方が、問われているという内容でした。彼は、現在のグローバル資本主義に警鐘は鳴らすものの、今後具体的にどのように行動すべきかは、あまり語ってないように感じました。つまり、そこは私達一人ひとりに委ねられていて、要はこうすればいいというものはないと主張しているようでした。では、逆に私達はどのように生きていけばいいのだろうか。マルクス・ガブリエルの主張で私自身が納得できた点について、述べてみたいと思います。それは私達は、未来から影響を受けて現在を生活しているという事です。具体例を挙げて説明します。例えば、午後人と会う約束をした場合、会うまでの間、洗顔をしたり、更衣をしたり、乗り物に乗ったりといった自分が必要と思われる行動を現在でしますよね。それは、午後人と会うという約束が、様々な行動をさせているわけです。少し言い換えると、過去これまで生きてきた人生経験が、午後人と会う約束を生み出したわけでもないし、また現在の自分の行動を過去の経験がさせているわけでもないです。だからこそ私達は、未来の地球や次世代の事に思いを致しながら、現在を生きていく必要があると感じています。未来を見据えて、現在を生きる。現時点での、私の日々の目標です。

★10月例会報告★

内田 勝久

10月10日（土） 奈良県外国人観光客交流館「奈良県猿沢イン」にて、10月例会が行われました。

まず、猿沢インの統括管理者である橋口洋尚氏による交流館の施設案内やコンセプトの解説があり、奈良を訪れる外国人観光客の誰もがくつろぎ・交流して奈良の魅力を体感できる空間を提出しており、「トリップアドバイザー観光部門」で奈良県第一位とのことでした。

続いて元奈良ワイズメンバーでユースリーダー時代に私の1年先輩だった、内山隆文氏による「香港・中国・台湾の現状について」の卓話が行われました。長年香港・台湾で活動されており、中国語が堪能で海外に知人も多く、非常におもしろい政治・経済・習慣についての裏話を聞くことが出来ました。ぜひ第2弾の卓話を聞きたいものです。

又ゲストにも、元リーダー0B・0Gの西口善規・陽子夫妻が参加され、大学時代の思い出話に華が咲き、楽しい例会となりました。

メン・メネット14名・ゲスト4名の計18名でした。



元リーダー0BOGの西口夫妻



JWマリオットさんとのコラボ企画を語る塩谷メン



卓話者の橋口さんと内山さん



香港・中国・台湾について語る内山さん



例会風景



佐藤会長から卓話者へお礼



猿沢インに隣接する猿沢池から5重塔を遠望



★YMCAだより11月号★

担当主事 村上 一志

毎年この時期に実施している奈良YMCAインターナショナルチャリティーランは、コロナウイルスの為に中止になりました。来年は、開催できることを切に願います。現在YMCAでは冬・春のプログラムの準備をすすめています。

それぞれのプログラムで、しっかりとコロナウイルス感染対策をとりながら実施致します。一人でも多くの子ども達がYMCAのプログラムに参加し、子ども達にとって、良き経験となりますように、スタッフ一同全力を注ぎます。

急に寒くなってきましたので、皆様もお体ご自愛下さい。



★10月役員会報告★

<協議事項>

*11月例会

日時：11/14(土) 18:30~20:30

場所：あきしの保育園 司会：平井洋三メン

卓話：「出会いが人生を創る縁の力」

講師：大阪サウスクラブ会長 木下康生様

*12月X' Mas例会

日時：12/13日(日)

*例会…チャペル 17:30~17:50 司会：高田嘉昭メン

*祝会…体育館 18:00~

内容：食事なし。体育館で礼拝30分、

その後 景品付きゲーム30分 (BINGO等)

<審議事項>

*第32回阪和部会 (実行委員長 林佑幸メン)

日時：R3年2月20日(土) 14:00~15:30 (90分)

開催方法：4会場および個人をZoomで繋ぎ、ハイブリッド方式で行う

参加登録費：500円/人。又は、他の方法

(プロのサポート費用)

※複数会場案含め再考。プロのサポートも値段を見て後日再審議

*奈良クラブ70周年記念例会 (実行委員長 濱田メン)

開催年：「70+1周年例会」としてR3年度に開催予定

※2021年1月役員会以降再考 (コロナの経過を観察)

<報告事項>

*阪和部新年合同例会は中止 (10/17評議会で決定)

*大阪サウスクラブ65周年記念例会

日時：11/10日(火) 18:30~20:30

場所：南YMCA2階 参加10名

*西日本区よりコロナ対策に関わる「会員間コミュニケーション向上資金」として1万円交付あり

★講師プロフィール★

木下 康生 様

卓話テーマ： 出会いが人生を作らるご縁の力

人生には出会うべき人に必ず出会う一瞬遅からず一瞬早からず常に感謝の心が大いなる神が良き出会いを招いてくれる。

プロフィール

1972年 同志社大学二部法学部卒

1972年から1979年 株式会社山善

1979年から1982年 (現) コスモ岩井証券

1982年4月 有限会社しかん香入社

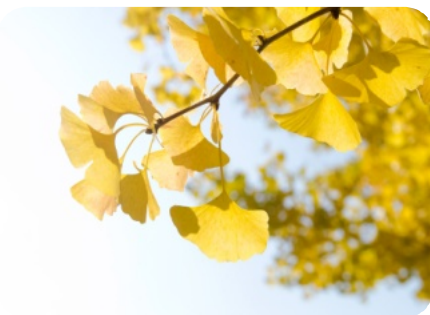
1986年10月~現在 有限会社しかん香代表取締役

モットー

常にありがとうございますと感謝の心を言葉で相手に伝える

趣味

石ころアート (自然の石に絵を書く) 旅行 絵画鑑賞



★11月誕生日記念★

HAPPY BIRTHDAY

6日 三枝 ひろみ

13日 宍戸 秀子

19日 塩谷 弘行

★11月行事予定★

4日 (水) 大阪長野クラブ例会

4日 (水) 大阪サウスクラブ例会

7日 (土) 和歌山紀の川クラブ例会

14日 (土) 奈良クラブ例会

19日 (木) 大阪河内クラブ例会

19日 (木) 和歌山クラブ例会

24日 (火) 奈良クラブ役員会

26日 (木) 大阪泉北クラブ例会